

みまもっ手通信

発行元：社会福祉法人みよし市社会福祉協議会 0561(34)1588

こんにちは！！

みよし市社会福祉協議会（略して）「社協（しゃきょう）」です。

今年もコロナ禍の夏を迎えることになりました。コロナ禍ではマスク着用により熱がこもりやすくなるなど、熱中症のリスクが一段と高まります。

また、今年は平年よりも厳しい暑さの夏が予想されるため、人との距離を保てる時は、マスクを外す時間を増やすなど、感染症対策とあわせて熱中症対策をして体調に気を付けて過ごしていきましょう。

地域見守り活動事業「みまもっ手」とは？

地域の中で困りごとのある人や、支援の必要な家庭などを地域の皆さんで見守り、気がかりなことを感じたら相談機関に連絡する事業で、地域で暮らす市民の支え合い活動のことをいいます。

地域の皆さんの手を広げていこうとする考えから「みまもっ手」と名付けました。



現在19事業所から地域見守り活動事業にご賛同いただき、協定を結んでいます。

NO	事業所名	NO	事業所名
1	有限会社出原新聞店	11	有限会社デイリー
2	株式会社長谷川新聞店	12	第一生命保険株式会社豊田支社
3	有限会社加藤新聞店	13	トヨタ生活協同組合
4	朝日新聞サービスアンカーASAみよし	14	ヤマト運輸株式会社
5	読売新聞三好専売所	15	株式会社山信商店
6	愛知中央ヤクルト販売株式会社	16	株式会社出雲殿互助会
7	明治乳業三好高岡センター	17	MYCみよし柿カレー
8	三好郵便局	18	株式会社シヨクブン
9	明治安田生命保険相互会社刈谷支社刈谷営業部	19	生活クラブ生活協同組合
10	有限会社やっこ寿司三好		

ご近所さんで、「新聞が郵便受けにたまっている」「洗濯物が干したまま」「なんとなくいつもと様子が違う」など、心配なことや気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。

電話 0561-34-1588
社会福祉協議会へ

地域で見守り・支え合うことで、地域から孤立をなくしましょう！

私たちの住む地域には、年齢や性別等に関係なく、生きづらさを抱えて孤立に陥ってしまう可能性がある人が多く住んでいます。社協としては、誰もが安心して地域で暮らせるように、地域の皆さまと共に支える地域づくりの推進に取り組んでいきたいと思えます。

先日のテレビ報道等でご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、全国でひきこもり状態にある人が約115万人（内閣府調査）を超えると推計されており、東京都江戸川区で行われた「ひきこもり実態調査」によると、年齢別では40代が最も多く、また60代、70代、80代以上の高齢者の年代を合計すると全体の約3割を占めます。ひきこもり状態の期間は、1年～3年未満が最も多く、続いて10年以上となっています。きっかけは、長期に療養を要する病気にかかったためが多かったです。
※厚生労働省はひきこもりの定義を「仕事や学校に行けず、かつ家族以外の人とほとんど交流せずに6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」としています。

みよし市内で新たに開設された相談窓口のご紹介

【令和4年4月開設】

★Ciel bieu（シエル・ブルー）

対象：義務教育終了後の市民で、ひきこもりや精神障がい等に悩みを抱えている方やそのご家族

内容：家以外の居場所、専門職との相談等

場所：障がい者等サポートセンター内（三好町陣取山 39-1）

電話：0561-78-3611



【令和4年4月1日開設】

★おかよし地域包括支援センター

対象：三好丘中学校区にお住まいの高齢者やそのご家族

内容：介護・医療・保健・福祉の側面から高齢者の生活を支える総合相談窓口

場所：カリヨンハウス内（三好丘二丁目 2-1）

電話：0561-33-4177

※急速な高齢化にともない「きたよし地域包括支援センター」から三好丘中学校区の地域が分割されました。



社会福祉協議会とは？

「社会福祉法109条」に基づき設置され、地域の住民、社会福祉や保健、医療及び教育などさまざまな分野の関係者、団体、機関の協力を得て、地域福祉の推進を図る営利を目的としない民間組織です。

